

「オンラインフライングディスク競技」実施要項

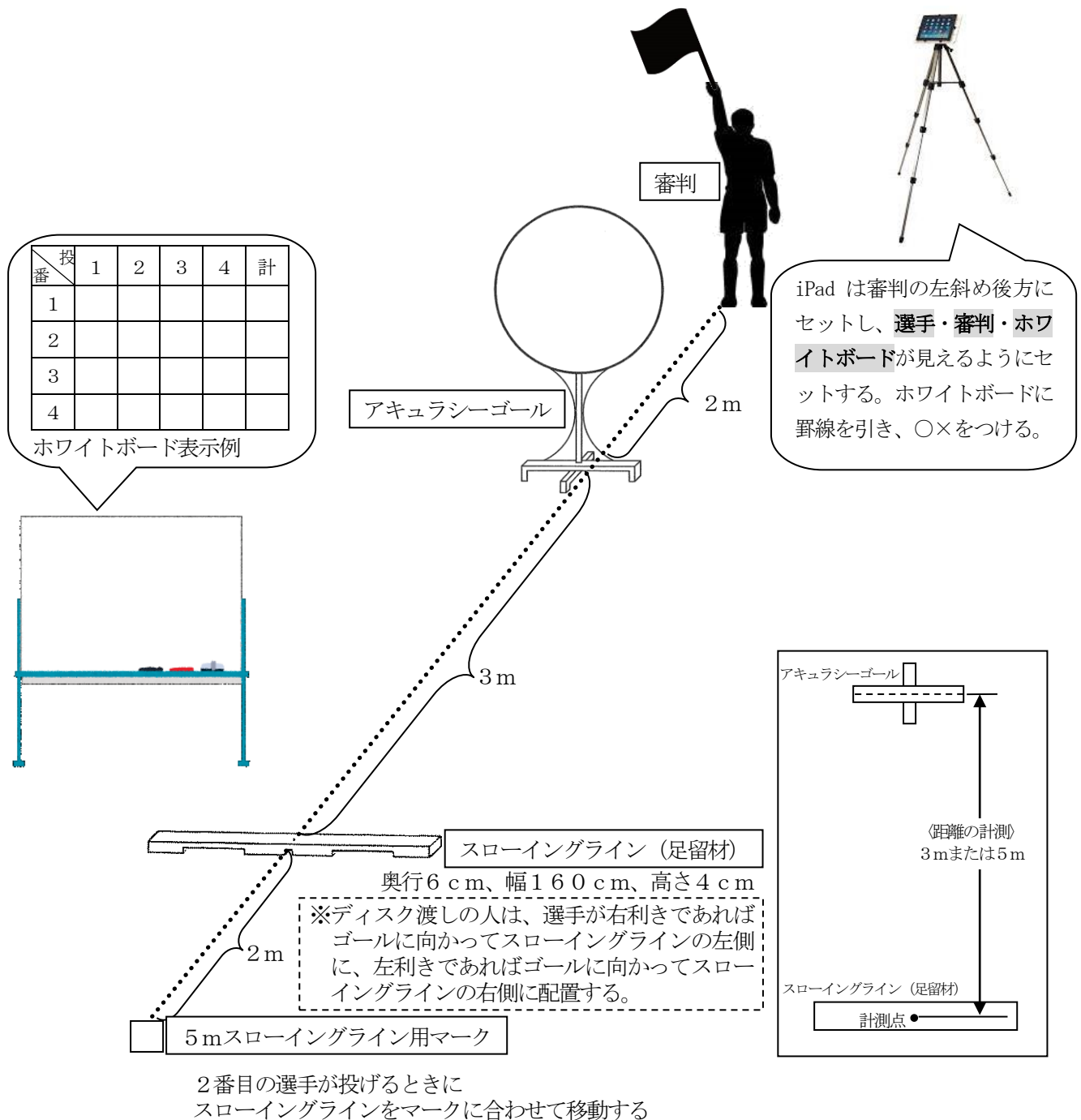
- 1 日 時 令和6年7月11日（木）
※参集型の競技が実施されない場合のみ本競技を実施する。
※タイムテーブルは参加校が確定後に連絡する。
- 2 会 場 エントリー生徒在籍校体育館 他
- 3 競技内容 アキュラシー（団体）20投戦（1人：4投）
・ディスリート・スリー（各チーム1番）
・ディスリート・ファイブ（各チーム2番・3番・4番・5番）
- 4 競技規則 競技は、全国障害者スポーツ大会競技規則及び青森県特別支援学校総合スポーツ大会申し合わせ事項に基づいて行う。
- (1) エントリー対象
・特別支援学校に在籍する中学部・高等部生徒を対象とし、それぞれ1チーム（5人）のエントリーが可能。
- (2) 競技種目
①ディスリート・スリー：スローイングラインの中央よりアキュラシーゴールまでの距離を3mとする。
②ディスリート・ファイブ：スローイングラインの中央よりアキュラシーゴールまでの距離を5mとする。
- (3) 競技方法
①アキュラシーゴールは、直径（内径）91.5cmの円形、パイプの径は2.5cmとし、前面がスローイングラインと平行で、外径の最下部は地上から61cmの高さとする。ゴールの設置は、追い風を基本とする。
②選手は4回連続して試技を行い、得点はディスクが地面に触れずに直接アキュラシーゴールを通過した回数とする。
③試技の時間は、選手が1投目のディスクを受け取ってから3分とする。
④予選は行わず、1回の決勝とする。
- (4) 順位の決定方法
①順位は、得点の多さで決定する。
②同得点の場合は、第1得点を先に挙げたチームを上位とする。第1得点と同じ場合は、順次、得点を先に挙げたチームを上位とする。
③②の方法によって順位が決定しない場合は、再投は行わず同順位とする。
- (5) 無効試技について
①選手が1投目のディスクを受け取ってから3分を超えた試技は無効とする。
②選手がスローイングラインの前面を除く上部に触れるか、踏み越えたときには無効とする。
③車いすまたはいすの接地面が、スローイングラインの上部または外側の地面に触れるか、踏み越えたときには無効とする。フットレストがスローイングライン上の空間に出るのは認める。
④無効となったスローイングは、1回の試技とみなされる。
- (6) オンライン競技をする上での留意点
・運営等は専門部主管校が行う。
・各校1人ずつ競技をする。
・2人目以降も専門部主管校による合図をもって1人ずつ競技をする。
・スタート時にプレイヤーが画面に映るようにする。その際に「学校名・氏名（プライバシーへの配慮を希望する場合は除く）」が書かれたものを掲示し、競技者が分かるようにする。
・回数は各校で数える。その際、得点板等を使用し、回数が分かるようにする。

- ・スタートと終了の合図は主管校で行う。
- ・各校、ゴール後方約2mの位置に審判を1名置く。
- ・主管校は、画面上で経過時間が分かるようタイマーを設置する。

(7) 支援者について

- ・支援者は各校で準備したビブスを着用の上、移動の支援を行うことができる。ただし、競技の支援や競技上有利になるような助言等は基本的に行えない。

(8) サイト設営図



【フライングディスク専門部主管校】

青森県立森田養護学校

委員長 勘林 秀平

TEL 0173-26-2610

FAX 0173-26-3270

E-mail 2020ases014@gmail.com